

指定管理業務評価表

施設名	小牧市ふれあいの家（障害者デイサービス施設ひかり）		
対象年度	令和3年度	評価担当部	福祉部
指定管理者名	社会福祉法人小牧市社会福祉協議会 （法人番号 1800-05-008384）		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
職員体制	常勤職員：5人 非常勤職員：5人 合計：10人		

1. 利用実績

(1) 利用者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	昨年度比
延利用者数	81	68	84	65	64	72	79	85	69	62	77	94	900	96.9%
利用日数	20	18	22	20	20	20	21	20	19	18	18	21	237	-
1日平均	4	4	4	3	3	4	4	4	4	3	4	4	4	-

(2) 増減要因

新たな利用者も受け入れる中、施設に入所した方や、家庭環境の変化などにより通所を休止した方などもおり、利用者数は前年度から微減となった。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	1回目：7月1日から7月31日 2回目：1月4日から1月31日	回答数	22人／22人 39人／39人
アンケート結果の概要等	<p>満足度は1、2回目合計で「満足」80%（前年79%）、「概ね満足」19%（前年18%）となり、前年同様、高い評価を得ている。 また、自由意見についてもほとんどが肯定的な意見だった。主な意見は以下のとおり。</p> <p>① 活動内容が充実していて本人も楽しく通所しています。食事提供があるともっと良くなると思います。</p> <p>② この状況（コロナ禍）の中、デイサービスを開いてくれる事に感謝します。そのおかげで、いつも通りの生活ができています。</p> <p>③ 週2、3回利用していますが、他のデイサービスでは気づかない細かい所までアドバイスして頂いたり、とても感謝しています。子どもにとって仲間と過ごす事も言葉では言わないですが楽しそうです。</p> <p>④ 利用者さんや保護者の事情に合わせ、柔軟に対応して頂けて安心して通える最後の「かけこみ寺」的な役割にいつも感謝しています。</p>		

具体的な 対応状況	<p>自由意見に対して丁寧に回答されており、必要に応じて改善策や運営の変更等が検討され、実行されている。</p> <p>上記「アンケート結果の概要等」にある主な意見に対する施設の回答は以下のとおり。</p> <p>① 昼食をまとめて購入することも考えていましたが、当日参加人数が少なく、確実にないことも多いひかりでは、毎日のご用意は難しい状況です。なるべく調理実習やテイクアウトで対応します。</p>
--------------	--

3. 収支の実績

(単位：千円)

		令和2年度 (前年決算額)	令和3年度 (現年決算額)	令和4年度 (翌年予算額)	備 考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	36,298	34,751	41,563	
	事業収入	0	0	0	
	合計	36,298	34,751	41,563	
支 出	人件費	30,043	28,843	33,932	
	事業費	3,358	3,394	4,314	
	事務費	2,897	2,374	3,307	
	その他	0	140	10	
	合計	36,298	34,751	41,563	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業計画における人員配置を満たしている。 ○ 職員研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により、外部機関が主催する研修への参加などは計画通りに実施できなかったものの、愛知県医療療育総合センター主催の研修に参加するなど、数少ない機会を有効に活用している。また、毎月の職員会議で事例検討を実施したり、各職員が障がい種別ごとの特性を研究して発表し合う学習会を開催するなど、施設独自の研修を充実させることで職員の知識、技術の向上に努めている。 ○ 利用促進業務について、民間の生活介護事業所等に馴染めない知的障がい者を2名受け入れるなど、市のセーフティネットとしての役割を果たすべく、「断らない支援体制」で対応している点は高く評価できる。また、通所しない日でも電話で相談を受けたり、長期間通所のない利用者に連絡を取るなど、稼働率の向上に向けた取り組みも実施されている。

維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設・設備の点検・保守は協定に基づき適切に行われている。 ○ 施設内は職員が毎日清掃しており、清潔に保たれている。 ○ 実効性のある避難訓練（地震・火災訓練）が年2回実施されている。
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の影響で前年度中止した「ふれあいまつり」は、「ひかり☆まつり週間」として感染防止対策を講じた事業所内のレクリエーションイベントに運営を変更し、特別なお弁当を提供するなど利用者に楽しんでもらう工夫が詰まった行事として実施された。 ○ おもちゃ図書館について、児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所が活用するなど、利用者の幅が広がっている。
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催には制限がある中、中止となった「スポーツ・レクリエーションのつどい」の代替としてミニ運動会とピアノコンサートを開催するなど、創意工夫により可能な限りのイベント実施がされている。 ○ 利用者アンケートが年2回実施され、満足度（「満足」「概ね満足」の割合）は99%（前年97%）と良好であった。また、自由意見に対して丁寧に回答されており、アンケートの意見を踏まえた改善策が実行されている。
収支状況 及び 経費節減	<ul style="list-style-type: none"> ○ できることは業者に任せずに職員自ら実施したり、書類のデータ化や裏面利用により紙の使用量削減に取り組むなど、経費削減の取組が確実に実行されている。
その他 (緊急時の対応、 市の改善指示に対する 対応等)	<ul style="list-style-type: none"> ○ スヌーズレンの導入やアロママッサージ講座の開催、個々の作品制作など、利用者のニーズに応じて様々な新しい取組が実施され、利用者から高評価を得ている。また、利用者の相談に対応するため、電話回線を増設するなど、設備面の改善も施されている。 ○ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、支援内容の変更、感染防止策の実施など、迅速かつ適切に対応されている。また、あさひ学園の看護師と意見交換を実施するなど、情報収集にも積極的に努めている。